

平成 26 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人
猪名川町社会福祉協議会

目 次

1. 総括	1 ページ
2. 諸活動報告	
1) 諸会議	2 ページ
2) 地域福祉活動	4 ページ
3) ボランティア活動	8 ページ
4) 障がい者（児）福祉活動	12 ページ
5) 高齢者福祉活動	19 ページ
6) 福祉教育活動	26 ページ
7) 広報・啓発活動	28 ページ
8) 自主財源活動	29 ページ
9) 団体事務局の運営	31 ページ
10) 総合福祉センター管理運営等	32 ページ
社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況	34 ページ

平成 26 年度 猪名川町社会福祉協議会 事業報告

1. 総 括

本年度は、平成 24 年 4 月から始まった第 5 次猪名川町地域福祉推進計画の最終年で、これまでの取り組みを計画評価委員会に報告し評価いただきました。それらを総括しつつアンケートや福祉団体の協力のもとワークショップを開催し、それをもとに策定委員会で審議をいただき、次年度からスタートさせる向こう 5 力年の短・中期の方向性を示す活動プランとして第 6 次地域福祉推進計画を策定いたしました。

地域福祉活動では各校区（地区）福祉委員会の活動現場に足を運び、活動を支援することに努めるとともに、認知症センター養成講座の開催や猪名川町徘徊 SOS ネットワーク事業にも積極的に関わり、各種ボランティアの養成講座等も開催し「きっかけづくり」「人の輪づくり」に努めました。8 月の集中豪雨で被害を受けた丹波市の災害ボランティア活動センターの運営支援には、5 日間、延べ 13 人の職員を派遣しました。この経験は当協議会の災害対応にも活かしていきます。

障害福祉サービス事業では、障がい者ふれあい運動会やふれあいバスツアー、イナワイ等への参加を通じて各種団体やボランティア、地域住民との交流啓発に取り組みました。

また、町からの委託事業として実施している障害者（児）相談事業や就労支援事業に取り組み、同時に障がい者の自立を支援するために、計画相談支援サービスにも力を入れました。

高齢者福祉事業では、次年度の介護保険の改正や新たに実施される「生活支援整備事業」の準備のため、地域包括支援センター事業の見直しと機能強化に取り組みました。

今後、要支援者に対するサービスは町が実施する地域支援事業へ移行することになり、その担い手の養成・発掘に力を入れることになります。

法人全体の事業収支では、昨年度から財政調整基金を取り崩しての厳しい運営が続いていましたが、今年度は収入総額 454, 957, 017 円（対前年度 110. 14%）、支出総額 447, 846, 252 円（対前年度 104. 33%）となり、差引額 7, 110, 765 円の黒字になりました。

昨年度から収支改善がみられましたが、今後も「財政基盤の安定」を目指した事業の改善、サービス向上に向けた取り組みを進めてまいります。

以下、ここに平成 26 年度における本会の諸活動について報告致します。

2. 諸活動報告

1) 諸会議

◎理事会開催状況

(理事定数 11名)

年月日	会議名	場 所	内 容	
26. 4. 24	理事会 (1回)	総合福祉センター	議案第1号	評議員の選任について
26. 5. 23	理事会 (2回)	総合福祉センター	議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号	評議員の選任について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会 福祉委員会設置規程の一部改正について 平成25年度社会福祉法人猪名川町社会 福祉協議会事業報告について 平成25年度社会福祉法人猪名川町社会 福祉協議会収入支出決算について
26. 6. 11	理事会 (3回)	総合福祉センター	議案第6号 議案第7号	会長・副会長の選任について 評議員の選任について
26. 9. 25	理事会 (4回)	総合福祉センター	議案第8号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会 役員等の費用弁償に関する規則の 一部改正について
27. 1. 29	理事会 (5回)	総合福祉センター	承認第1号 議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号	専決処分の承認を求めるについて(社会 福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員 給与規程の一部改正について) 猪名川町社会福祉協議会職員安全衛生 規程の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会 臨時職員の雇用に関する要綱の一部 改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会 多機能型事業所「希望の家すばる」 運営規程の全部改正について 平成26年度社会福祉法人猪名川町社会 福祉協議会補正予算(第1号)について
27. 3. 19	理事会 (6回)	総合福祉センター	議案第13号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会 嘱託職員の雇用に関する要綱等の

			議案第 14 号	一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について
			議案第 15 号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会多機能型事業所「希望の家すばる」運営規程の一部改正について
			議案第 16 号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事務局組織規程の一部改正について
			議案第 17 号	平成 27 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の事業計画について
			議案第 18 号	平成 27 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出予算について

◎監事会開催状況

(監事定数 2 名)

年月日	会議名	場 所	内 容
26. 5. 19	監査	総合福祉センター	平成 25 年度収入支出決算監査

◎評議員会開催状況

(評議員定数 23 名)

年月日	会議名	場 所	内 容	
26. 5. 29	評議員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号	理事及び監事の選任について
			議案第 2 号	平成 25 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について
			議案第 3 号	平成 25 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について
27. 2. 5	評議員会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 4 号	猪名川町社会福祉協議会職員安全衛生規程の一部改正について
			議案第 5 号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会多機能型事業所「希望の家すばる」運営規程の全部改正について
			議案第 6 号	平成 26 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第 1 号)について
27. 3. 24	評議員会 (3 回)	総合福祉センター	議案第 7 号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について
			議案第 8 号	平成 27 年度社会福祉法人猪名川町社

			議案第 9 号	会福祉協議会の事業計画について 平成 27 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出予算について
--	--	--	---------	---

◎兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会

年月日	会議名	場 所	内 容	
26. 4. 24	委員会 (1回)	総合福祉センター	議案第 1 号	平成 25 年度一般会計及び特別会計決算について
26. 9. 25	委員会 (2回)	総合福祉センター	議案第 2 号	平成 26 年度共同募金運動の実施計画について
			議案第 3 号	平成 26 年度一般会計及び特別会計予算について

◎地域福祉推進計画策定・評価委員会

地域福祉推進計画に基づいて実施している事業について、住民の立場や専門的な視点から評価を行い、計画の確実、効果的な推進を図ることを目的として、評価委員会を開催しました。

平成 26 年度における各種事業の現状と課題（評価）について報告を行うとともに、委員の方々より地域の課題について協議・意見交換を行い、向こう 5 カ年の活動の基本方針、数値目標、取組内容を示す第 6 次地域福祉推進計画づくりのため、計画策定委員会を 4 回開催しました。

2) 地域福祉活動

①福祉委員活動

福祉委員制度は、自分たちが住んでいる地域の福祉課題を「見つける」「知らせる」「広める」「つなげる」役割として、地域で住民参加の福祉活動を進め、地域の福祉力を高めていくことを目的として設置されたもので、本年度もその活動の推進・支援に努めました。

◆福祉委員会全体会議の開催

《計 2 回：5 月 24 日（土）44 名参加・12 月 6 日（土）38 名参加》



福祉委員全体会の様子

◆役員会開催（計5回：5月17日・7月5日・9月6日・12月13日・3月7日）

◆認知症サポーター養成講座

校区（地区）福祉委員活動としてキャラバンメイトの協力を得て、認知症サポーター養成講座（グループワーク形式）を実施しました。認知症への理解者を増やすと共に、日頃から地域のつながりの大切さを啓発するための地域福祉の取り組みの一環として、今後も継続していきます。

10月25日（土）	原・松尾台地区福祉委員会	20名参加
11月26日（水）	猪名川台いこいの会	24名参加
2月28日（土）	楊津・大島小校区福祉委員会	50名参加



原・松尾台地区でのロールプレイの様子



楊津・大島小校区でのグループワークの様子



◆ 福祉用具展示会

継続的な取り組みとして福祉委員会主催で、福祉用具展示会を開催しました。

開催日：平成26年11月9日（日）10時～15時

場 所：猪名川町文化体育館（小ホール）

参加者：116名（福祉委員36名、一般来場者80名）

内 容：福祉用具展示、ミニ講座、総合相談、脳トレ・擬似体験コーナー、電動カート、介護保険サービス事業所パネル展示、車いすの試乗等



福祉用具展示会 会場の様子

◆小地域福祉組織化活動

地区（校区）福祉委員会では、それぞれの地域特性にあわせた福祉啓発活動、

地域ふれあい交流活動、在宅福祉援助活動などに取組されました。

○主な活動内容

小校区・地区名	主な活動内容
内馬場・伏見台地区	お花見会（民生児童委員と共に）、映画会（年4回）、福祉落語会、歌声サロン（年4回）等
原・松尾台地区	ふれあいひろば（年3回）、自治会・民生委員との交流会等
阿古谷地区	ふれあい交流会（夏祭り、カラオケの集い、うどんづくり教室、出前寄席、健康講座等）、サロン活動等
猪名川小校区	若葉いこいの家の運営ボランティア（子育てほっとスペース、手芸サークル、クリスマスコンサート、等）、健康教室（チアトレとサロン）、むつみ会の運営サポート、サマーフェスタ、秋祭り、しめ縄と餅つき、世代交流等
つつじが丘小校区	あそびの広場（未就園児と親の集い）年10回、夏祭り、福祉サロン（盲導犬のお話、人と犬の付き合い方）、古切手の収集と寄贈、いこいの会（年12回、猪名川台）、カフェサンテの開催（年9回、差組）等
白金小校区	『ほっとサロン絆』（月1回）、土曜サロン（年4回）、健康講座、福祉委員研修（施設見学）、善意の傘のメンテ等
楊津小校区	グラウンドゴルフ大会、楊津夏祭り、認知症センター養成講座（大島小校区との共催）等
大島小校区	介護技術講座、自治会内住民個別訪問、独居老人との対話、認知症センター養成講座（楊津小校区との共催）

◆行事・イベント等への参加

健康福祉まつり、障がい者ふれあい運動会、社協会員会費、共同募金への協力など。

②ふれあい弁当サービス

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯等を対象に、安否確認や食生活充実を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

本年度は、ケアマネジャーや近所の方、ボランティアからのサービス紹介が例年以上に多く、実績として2,123食／49日（昨年度1,911食／50日）の配食を実施しました。また、毎月1回のおたより「お弁当だより（翌月の献立表も掲載）約480部／年）の発行や利用者対象にアンケートの実施や事業啓発を実施しました。ひとり暮らしの高齢者が年々増加する中、今後も安否確認や地域とのつながりを作るなど更にサービス充実に努めています。

◆ふれあい弁当月別配食実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
26年度	206	158	165	217	131	188	231	191	178	161	128	169	2,123
1回あたりの平均配食数	41	39	41	43	43	47	46	47	44	40	42	42	43
25年度	145	185	141	181	109	144	191	152	162	167	165	169	1,911
1回あたりの平均配食数	36	37	35	36	36	36	38	38	40	41	41	41	38

③福祉相談活動

◆生活福祉資金貸付事業

生活困窮世帯の方々などに低金利で資金を貸付けする事業で、相談もしながら経済的自立を図るとともに、在宅福祉の推進と社会参加促進を図り、地域で安定した生活を送れることを目的とした貸付制度です。

本年度の相談は延べ 16 件で、そのうち 6 件が総合支援資金で、生活福祉資金は 10 件、緊急小口資金は 0 件でした。貸付に至ったケースは 2 件で、1 件は教育支援資金、もう 1 件は生活保護受給者への電化製品購入に係る費用の貸付でした。本年度は数年前から相談を受けていたケースが、状況変化に伴い再相談した結果、生活保護になっている人や自己破産申請中の人もいました。また、フードバンク関西を利用し、食糧支援を行なったケースもありました。

◆心配ごと相談の運営

民生委員児童委員協議会に委託して実施しており、総合福祉センター、木津総合会館及び日生公民館において、原則毎月 3 回火曜日の午前 10 時から 12 時まで民生委員児童委員が輪番で相談を受けています。本年度の相談件数は 5 件でした。昨年度も 3 件でした。

④日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

判断能力が十分でない方（認知症高齢者・精神障がい者・知的障がい者等）が、地域で安心して生活ができるよう福祉サービス利用への援助（情報提供・利用手続きの援助、利用料の支払等）や日常の金銭管理（生活費の引出し、預金通帳・印鑑の預かり）等の支援内容を定め契約し、派遣される「生活支援員」により自立した生活支援を行うことを目的とし、平成 12 年度より実施しています。

本年度は 26 件の相談がありましたが、結果として利用は 0 件となりました。同居家族が管理されている、若しくは成年後見制度の申請が妥当であった、本事業で管理できる財産規模でない等の理由により利用に至りませんでした。

- ・生活支援員の研修会参加
- ・社協だよりでの広報（平成 27 年 1 月 1 日号）
- ・福祉委員会、ケアマネジャーの会議等での事業説明
- ・相談

⑤福祉用具の貸出事業

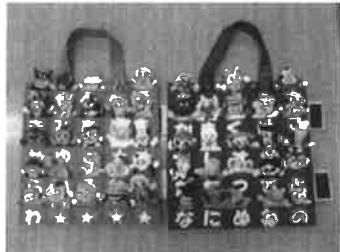
平成 5 年度より、町内在住で福祉用具を必要とする方に、善意銀行に寄付があった福祉用具（車イスや歩行器等）を基本 6 ヵ月以内無料（一部物品搬出料の負担あり）で貸出を実施しています。昨年度と比較して貸出数は減少となりました。また、平成 26 年 12 月に兵庫県生命保険協会より車イス自走用 2 台が寄贈されました。

貸出器具	車イス	介護用ベッド	ポータブルトイレ	歩行器	その他 (杖・入浴関連他)	合計
26年度	67	2	23	13	47	152
25年度	94	3	28	5	32	162

⑥手作りおもちゃの貸出事業

「おもちゃ図書館」では、ボランティアが製作した布や木の手作りおもちゃを、地域の団体や子育て支援グループ等へ貸出しを行いました。本年度は、実際に活用して頂いている地域へ出向き、どのようなおもちゃを希望されるか等も聞き取り、製作につなげるよう努めました。昨年度に引き続き、ふれあい伝言板にもポスターを掲示してPRしており、新規の利用もありました。

本年度貸出し件数 36件 (昨年度…52件)



あいうえお絵本



布絵本

3) ボランティア活動

①ボランティアセンターの活動

◆兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の取扱い件数は126件、加入者数は1,274名でした(昨年度95件・1,421名)。その内、【天災危険補償プラン】の取扱い件数は8件、加入者数は168名でした。

◆ボランティアグループ連絡会では、8グループの代表者により、ボランティア活動に関する連絡調整・企画検討などを本年度は2回開催しました。

◆猪名川町ボランティア活動センター運営委員会では、ボランティア活動センターの円滑な運営を図るために、運営委員会を設けており、5名の委員(ボランティア関係・福祉委員・当事者団体・関係行政機関・社協理事)で構成されています。本年度は1回開催し、ボランティア活動センターの事業について協議しました。

◆ボランティアに関する相談受付処理状況 (件)

内容	ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	合計	昨年度実績
一般住民	20	15	0	0	0	1	7	43	68
ボランティア・市民活動団体	3	0	2	18	7	11	38	79	134
福祉施設・病院	0	705	1	0	0	0	4	710	661
行政機関	0	11	2	3	0	0	8	24	37
社協	0	147	0	0	0	0	3	150	141
福祉団体	0	48	0	0	0	0	1	49	6
学校・教育機関	0	17	12	6	3	0	7	45	56
その他	0	0	1	1	0	0	0	2	3
合計	23	943	18	28	10	12	68	1102	1106

ボランティアの活動延べ人数は、2,147名となっています。依頼者ごとの主な活動内容は、以下のとおりです。

一般住民	パソコンの学習、傾聴活動等
福祉施設・病院	話相手(傾聴)、活動や作業の手伝い、演奏披露、行事手伝い等
行政機関	講演会等での情報保障(手話通訳・要約筆記)、託児等
社会福祉協議会	ふれあい弁当サービスの調理及び配食、声の広報CD作り、「おもちゃ図書館」手作りおもちゃ作り、イベントの手伝い等
福祉団体	イベント等での情報保障(手話通訳・要約筆記)、託児等
学校・教育機関	点字の学習、聴覚障がいの学習などの指導等

②ボランティア講座・研修会の開催

本年度も、引き続き「第5次地域福祉推進計画」に基づき、住民が参加しやすい講座の開催を目指しました。「災害ボランティア入門講座」をはじめ、開催日時の設定を工夫し、町内事業所へポスター・チラシ配布などのPR活動を行いました。

また本年度も、より一層地域住民の方々に社協の活動を知って頂くことを目的に、講座終了後、講座の様子を社協により、ホームページに掲載し周知に努めました。

◆サマーボランティアスクール 2014

中・高校生、大学生等を対象に、夏休み期間に福祉体験活動を中心に福祉への関心を高めるとともに、ボランティア活動の参加の契機となることを目的として平成4年度より開催しています。

開催日：平成26年7月19日(土)～8月31日(日) 延べ日数：33日

場 所：総合福祉センター・天河草子ほか

内 容：介護保険サービス(デイサービス・グループホーム)・障がい者福祉サービス(多機能型事業所「希望の家すばる」)・ふれあい弁当作りの活動のほか、ボランティアグループの協力のもと音訳・点訳・要約筆記等の体験などの活動の場を設けました。本年度は、新たに町内2ヶ所の事業所と1つのボランティアグループに受け入れにご協力頂き、託児ボランティア体験・車いす体験等のプログラムに取り組みました。

参加者：26名 延べ：54名(昨年度 6名、延べ：20名)

◆要約筆記啓発講座

聴覚障がい者のためのコミュニケーション保障の手段の一つの方法である「要約筆記」について広く町民の方に知って頂くと共に、福祉活動への関心を深めていただき、聴覚障がい者の社会参加を支援する要約筆記ボランティアの養成を図ることを目的として実施しました。(今回は、「啓発講座」ということで、支援者の養成だけでなく、聴覚障がい者(主に難聴者)やその家族にもご参加頂き、猪名川町で初の「要約筆記について聴覚障がい者やその周りの方・支援者が共に学ぶ講座」となりました。)



要約筆記啓発講座の様子

開催日：平成26年9月4日(木)～11月6日(木) 毎週(木) 10:00～12:30
全9回

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：聴覚障がいの基礎知識・要約筆記の基礎知識・パソコン要約筆記等

参加者：17名 延べ73名(内、難聴者は3名)

備 考：今回は、聴覚障がいの方も参加しやすいようにと、毎回要約筆記と磁器誘導ループの設置を行いました。また、参加して頂きやすいよう1回のみの参加も可としました。



音訳ボランティア講座の様子

◆音訳ボランティア講座

目の不自由な方への情報提供や社会参加促進のため、町の広報や社協だより等の文字情報の音訳(音声に換える)や対面朗読等を行

うボランティアの養成を目的として実施しました。

開催日：平成 26 年 10 月 3 日（金）～11 月 21 日（金）

毎週（金）10：00～12：00 計 8 回

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：音訳について学ぶ（発声・アクセント・対面朗読・身近な文章を読む等）

参加者：11 名（内、修了者は 9 名） 延べ 67 名

◆ちびっこウィンターボランティア講座

小学 1 年から 6 年の小学生を対象に、障がいのある方やボランティアなどとのふれあいを通じて、子ども達が積極的に福祉やボランティアへの関心を持つ契機となることを目的に開催しました。今年度は、保護者同伴で 1・2 年生の小学生も対象としました。

開催日：平成 26 年 12 月 13 日（土） 10：00
～12：00



ちびっこウィンターボランティア講座の様子

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：「盲導犬について学ぼう！」

講 師：社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

参加者：16 名（H25 2 回コース 計 13 名 延べ 15 名）

◆福祉ボランティア講座

障がいのある方やボランティア等とのふれあいを通じて、福祉やボランティアへ関心をもつ契機となり、日常生活で自分に出来ることは何かを考え日頃の生活につなげることを目的に実施しました。

開催日：平成 27 年 2 月 21 日（土） 10：00
～12：00



福祉ボランティア講座の様子

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：「聴導犬とともに生きる」

講 師：特定非営利活動法人 M A M I E (マミー)

安藤美紀氏 & 聽導犬レオン

参加者：27 名

◆災害ボランティア研修会

災害発生時には、日頃からのネットワークづくりが不可欠であることから、ボランティアや災害支援活動に関心のある方を対象に、災害ボランティアについて学ぶと共に、ワークショップを通じ



災害ボランティア研修会の様子

て参加者同士の交流を図ることを目的に実施しました。

開催日：平成 27 年 3 月 14 日（土）10：00～12：00

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：「災害ボランティアのはじめの一歩」

講 師：認定特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク

常務理事 寺本 弘伸 氏

参加者：12 名

③ボランティアの啓発等

◆ボランティアの啓発

「健康福祉まつり」にて、ボランティア活動センターのパネル紹介や、「イエス・ノー」でこたえていき、おすすめのボランティア活動をお知らせするフロアーチャートを用い、参加形式での PR・啓発活動を行いました。ボランティアグループも、ボランティア体験などを中心に活動の PR を実施し、ボランティアに対する関心を高める機会となりました。

グループ名	内容
音訳ボランティア「リヴィエール」	録音体験
手話サークル「マジック」	手話体験（震災に関する手話）
点訳ボランティア「てんてまり」	点字体験
要約筆記ボランティア「ゆきんこ」	パソコン要約筆記体験・字幕付 DVD 映画会
パソコンボランティア「夢ネット」	パソコンを利用したオリジナルカード作り
傾聴ボランティア「みみい～な」	傾聴サロン

◆啓発用冊子等の作成・配布

ボランティアに関心のある方や初めて活動をする方に、わかりやすい啓発リーフレット「いっしょにやろうボランティア」や、ボランティア・福祉学習の詳細を記載した啓発冊子「レッツトライボランティア」を配布しました。冊子は学校での福祉学習体験や地域住民にも配布し、啓発に努めました。また、「ふれあい伝言板」を活用しての情報発信を実施しました。

4) 障がい者（児） 福祉活動

①ふれあい交流活動

◆第 21 回ふれあいバスツアーの開催

本年度より、実行委員会形式をとり各種障がい者団体の協力を得ながら、より当事者とその家族目線での手作り感ある企画の立案や運営に取組みました。また、多くの障がいのある方に参加していただけるような仕組み



工場見学の様子

づくりとして、新たに「要約筆記ボランティアゆきんこ」と「手話サークルマジック」にも協力していただく等、運営における工夫について実行委員会で取組みました。(本事業は、善意銀行の指定払い出しにより実施しています。)

開催日：平成 26 年 11 月 15 日（土）

場 所：グリコピア神戸・キリンビール神戸工場

参加者：34 名

◆障がい者ふれあい運動会の開催

障がいのある人とその家族、ボランティアが共にスポーツ・レクリエーションを楽しみながら、仲間や生きがいづくりとして、「障がい」の壁を乗り越え、お互い理解を深め合い、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることを目的として、毎年、6 月に開催しています。



「交流会」での様子

このふれあい運動会は、同時期の開催や同じプログラムを実施することで、よりわかりやすく人にやさしいイベントとして、多くの障がいのある人に参加していただけるよう、コミュニケーションをサポートしてくれるボランティアに協力していただく等、運営における工夫について実行委員会で取組みました。

今年も白金小学校区における住民運動会では、障がいのある人でも地域の運動会に参加しやすい仕組みづくりの中で、ふれあい運動会のプログラムを参考に活用していただきました。

協力団体・機関：猪名川町手をつなぐ育成会・猪名川町身体障害者父母の会・どんこうサークル・猪名川園・猪名川体操協会・要約筆記ボランティアゆきんこ・手話サークルマジック・猪名川町民生委員児童委員協議会・猪名川町福祉委員会・福祉課

開催日：平成 26 年 6 月 28 日（土）

場 所：総合福祉センター コミュニティドーム

参加者：100 名

内 容：①元気にダンス！ダンス！ ②伝統の一戦！

③魚つりゲーム ④応援合戦&マルモリダンス！

⑤借り物でパン GET！ ⑥ラバーチーンで大空へ

⑦交流会



イベント時の参加者との交流風景

②地域啓発活動事業

◆イナワイ（地域交流活動）

平成 24 年度より、障がいのある人の交流や地域における障がい者福祉等への啓発活動、支援に関わる人材育成、

確保を目的として定例会を毎月開催し、当事者のエンパワメントを大切にしながら、メンバーによる啓発活動に取組みました。

プロジェクト第1弾として、作品づくりを通して地域の方々と触れ合うことを目的とした“みんなの大きなアートづくり”3ヵ年プロジェクトの最終年度となった本年度は、これまでのイベントで集めてきた参加者の描いた作品を1つの大きなアートの形に集約し、これまでの活動報告と次期プロジェクト“農”的告知を行いました。少しずつではありますが地域の方との関わりも出てきました。



イベント時の参加者との交流風景

③障害者自立支援

◆障害者多機能型事業所「希望の家すばる」

町からの障害者自立支援特別対策補助金の最終年度となる本年度は、事業における収支バランスの見直しや継続可能な支援体制の模索にと、これまで以上に自立性を高めることに取組みました。

○就労移行支援事業

本年度の取り組みは、就職を希望されている各利用者の障害特性にあったプログラムで、作業訓練（内職等）、ビジネスマナー、一般常識、日常生活習慣の見直しなど、就職するにあたって必要な基礎的なことに重点を置き支援しました。

また、合同面接会の参加、接客（訓練）、などに積極的に取組み、1名が就職しました。

○就労移行支援事業の利用状況

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
26 年 度	延利用者数	62	60	47	22	21	20	23	20	22	27	29	38	391名
	登録者数	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	平均2.3名
25 年 度	延利用者数	78	80	79	104	78	73	82	70	54	45	50	51	844名
	登録者数	4	4	5	5	4	4	4	4	3	3	3	4	平均3.9名

○就労継続支援B型事業

本年度は、地域のニーズに対応すべく定員数を18名とし、新たな利用者の受入体制を整え、試行利用や実習の受入にも取組みました。作業プログラムにおいて、各利用者の作業スキル向上に伴い、コミュニティ tearoom きららでの販売や

内職作業の請け負う内容に幅が拡がりました。地域でのイベント数が減少傾向のなか、1回のイベントへの参加方法の見直しやイオン外出等を通して、個別に担当を設けることや集団行動を行う場面設定などの工夫をすることで、地域の方と触れ合う機会の確保や協調性を高める支援に取組みました。



○就労継続支援B型事業の利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
年度	延利用者数	307	277	302	313	284	283	315	259	276	251	255	284	3,406名
	実利用者数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	
年度	延利用者数	255	261	254	278	250	242	268	246	243	235	237	246	3,015名
	実利用者数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	

○就効継続支援B型事業の工賃支給状況

(単位:円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
年度	工賃支給額	72,200	86,900	92,500	98,400	93,100	87,200	92,800
	平均個人支給額	4,813	5,793	6,167	6,560	6,207	5,813	6,187
年度	工賃支給額	127,863	105,000	76,300	108,300	78,600	102,003	72,642
	平均個人支給額	9,269	8,077	5,869	8,331	6,046	5,200	3,500
		11月	12月	1月	2月	3月	計	
年度	工賃支給額	133,900	99,100	84,500	79,900	137,512	1,158,012	
	平均個人支給額	8,927	6,607	6,036	5,707	9,822	6,553	
年度	工賃支給額	119,316	118,541	121,583	113,600	133,951	1,277,699	
	平均個人支給額	6,223	6,977	6,677	11,360	8,100	7,135	

○生活介護事業

利用者に視覚的に情報を表示することで、わかりやすい環境を整え、自分の要求を伝えやすくしたり職員とのやりとりの理解促進についての環境整備やPT及びOTと連携し、各々の身体機能に合わせた機能訓練や作業訓練等の充実に取組みました。引き続き、利用者が主体となり会議を開催し、外出や調理活動等を通して、生活スキル獲得・向上についても支援を行いました。



作業訓練の様子

○生活介護事業利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26 年 度	延利用者数	229	221	236	247	216	223	236	198	218	225	230	261	2,740名
	実利用者数	13	13	13	13	13	13	13	13	14	15	15	15	
25 年 度	延利用者数	202	205	204	230	210	194	217	202	203	209	202	197	2,475名
	実利用者数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	

◆障害者日中一時支援事業

利用の内訳は、前年度と同様に、家族の都合や学生の春・夏・冬休み等の長期休み時の利用が目立ちました。本年度は、4名の新規利用者が増えましたが、サービス間でのつなぎや緊急時等のための登録で、実際の利用には至っていない状態です。

○日中一時支援利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
26 年 度	実利用者数	9	7	6	8	10	7	6	5	7	4	5	8	82名
	利用延人数	23	20	18	25	31	24	18	13	14	7	16	20	229名
25 年 度	実利用者数	9	4	6	10	9	6	6	9	5	7	6	7	84名
	利用延人数	24	13	14	22	34	21	18	22	12	14	13	17	224名

◆移動支援事業

本年度は、定期的な利用が増えたことや計画相談支援を通して新規利用者9名が増えたことから、結果、実利用者数及び延利用日数とも前年度対比で大幅な増となりました。これらのニーズに対応すべく、女性ガイドヘルパー職員2名増員

しました。

○移動支援事業利用状況

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
26年 度	実利用者数	8	5	7	7	6	7	8	10	6	7	6	7	84名
	延利用日数	15	11	19	23	19	17	21	24	16	17	21	20	223日
25年 度	実利用者数	4	3	3	4	6	2	4	3	5	4	5	6	49名
	延利用日数	9	7	7	9	10	5	5	8	8	7	10	12	97日

◆地域活動支援センター

これまで利用者と職員、または職員を介してのコミュニケーションが多かったですが、創作プログラムを通して、利用者同士の横のつながりや役割について活性化してきました。本年度は、前年度と比較し、新規登録者は減少したものの、個々の利用者の利用回数が増えたため、延利用者数が増加しました。年平均利用者数は昨年度の3.6人から本年度は5.0人に増加しています。また通所されながら、アルバイトを開始された利用者もあり、障がい（精神疾患）のある方の居場所として、定着しています。

○地域活動支援センター事業利用状況

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
26 年 度	延利用者 数	94	96	105	136	126	117	109	77	87	84	95	116	1242名
	実利用者 数	12	12	12	13	14	15	13	8	10	11	13	14	
25 年 度	延利用者 数	76	79	75	75	64	54	60	81	70	69	90	93	886名
	実利用者 数	13	13	12	14	13	11	10	13	11	14	13	14	

◆障がい者ホームヘルパー事業

障がい（身体・知的・精神）があるため、日常生活を営むのに支障がある障がい者の自宅にヘルパーが訪問し、身体介護（身の回りの支援、食事、入浴、排泄等の介助・介護）、家事援助（調理、洗濯、掃除、買物等の必要な家事）、相談・助言・その他（生活・介護に関する相談、外出時の付き添い）サービスを実施しました。

本年度は、家事援助・身体介護とも日々支援を必要とする利用者の増加により利用が大幅に増加しました。本事業は、収益目的とした事業運営ではなく、家族、相談支援センターや行政等、関係機関と連携を図りながら、個々の障がいに応じ

た細やかな支援や他事業所では対応困難なケースなどを率先して受け入れに努めました。

○障害者ホームヘルパー利用実績（移動支援事業の実績を含まない）

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	実績額
年 度	利用実人員	7	8	9	9	7	7	9	8	7	7	7	7	92	4,119 千円
	延べ利用件数	105	112	117	137	109	116	153	110	122	115	105	109	1410	
年 度	利用実人員	6	6	6	5	5	5	5	8	7	6	7	8	74	2,614 千円
	延べ利用件数	38	55	54	48	45	40	45	59	113	94	88	110	789	

◆障害者地域生活支援事業 相談支援事業

障害者総合支援法の障害者地域生活支援事業における相談支援事業を町より受託しています。障がいのある方やその家族が安心して暮らしていくよう支援を実施しました。サービスの利用に関する支援や不安の解消・情緒安定に関する支援や、発達障害の方や高次脳機能障害の方からの生活・就労相談が増加しています。総合相談のみの延べ件数は昨年に比べると減少していますが、昨年度より障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき計画相談支援が始まり、今まで総合相談で対応してきた方々や、支援センターと繋がりの無かった方々のサービス等利用計画を作成し、計画相談の延べ件数は1310件になります。相談支援センターで対応した相談総数は昨年の件数を上回っています。

○障がい種別相談等延べ件数

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
年 度	身体	26	34	32	31	21	8	5	5	10	3	5	9	189
	知的	17	23	27	28	16	10	15	9	20	6	9	14	194
	精神	44	38	31	46	33	42	37	23	15	26	27	23	385
	重症心身	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発達	18	23	26	20	9	8	12	27	25	18	12	23	221
	高機能	0	4	0	4	1	0	0	0	0	0	1	6	16
	その他	0	0	0	0	8	1	6	8	0	2	5	12	42
合計		105	122	116	129	88	69	75	72	70	55	59	87	1047
年 度	身体	20	30	26	26	18	25	27	33	40	32	28	23	328
	知的	25	29	29	53	36	29	46	25	26	22	23	31	374
	精神	62	82	65	71	64	51	59	23	42	37	19	35	610
	重症心身	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

発達	36	28	12	22	20	15	16	18	11	19	16	24	237
その他	16	16	16	9	11	4	8	2	5	0	5	3	95
合計	159	185	148	181	149	124	156	101	124	110	91	116	1,644

◆計画相談支援実績

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	実績額
26 年度	利用実 人数	9	5	7	16	15	13	3	7	13	31	24	22	165	2,973千円 (延べ1310件)
25 年度	利用実 人員	—	—	—	—	—	—	—	6	5	9	4	8	32	568千円 (延べ256件)

◆声の広報等発行事業

文字による情報入手の困難な視覚障がい者のために、音訳・点訳等により町広報・社協だより等を定期的に編集・発行しています。音訳ボランティア「リヴィエール」、点訳ボランティア「てんてまり」の協力を得て、実施しました。本年度も引き続き、福祉課の協力を得て町内の視覚障がいの方に、チラシを案内したほか、新たな取り組みとして眼科にポスター掲示のご協力を得るなど、事業のPRに努めたところ、新規の利用者が2名ありました。また、CDや点訳物は図書館や福祉課等にも配布し、本年度の利用者数は3名（延べ37名）となりました。（昨年度は、1名 延べ18名）



CD／郵送時のケース

◆障がい児療育支援事業

町からの委託事業として実施している療育支援事業は、言語聴覚訓練、理学療法、作業療法（作業療法は週2日）と枠を広げ、週4日実施しました。本年度は実利用者が51名、延べ利用者数631名の利用がありました。（昨年度は、実利用者44名 延べ利用者384名）

5) 高齢者福祉活動

①介護保険事業

◆訪問介護事業（ホームヘルパー）

ホームヘルパーが自宅へ訪問し、食事・入浴・排泄等の支援をする身体介護、掃除、洗濯、調理等の生活援助を行いました。

本年度は、通年を通して安定した利用状況で推移し、冬季でも利用者の体調不良等による入院や入所などに伴う利用の落ち込みもなく、結果、収入額は前年度対比で若干の増となりました。ターミナルケア（終末期介護）や介護拒否が強い

利用者などの困難ケースについても、職員間で研修や情報伝達の徹底などを行いました。

○訪問介護事業利用件数

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	実績額
年 度	実人員 利用	64	66	66	64	63	62	65	60	63	62	64	64	763	23,211 千円
	延べ利 用件数	633	646	563	592	528	557	573	505	532	534	545	607	6,815	
年 度	実人員 利用	58	59	60	60	59	66	65	69	68	66	66	63	759	22,708 千円
	延べ利 用件数	516	532	475	572	536	582	632	623	561	602	601	613	6,845	

◆通所介護事業（高齢者デイサービス）

入浴や食事等の支援を日帰りで提供し、希望者には機能訓練を実施しています。本年度は8月と10月に天候不良による警報のため各1日営業停止になった月と、体調不良による長期欠席者が急増した3月以外は前年度に比べて延べ利用件数が増えたため、增收となりました。新たなボランティアを開拓し、個別的にレクリエーションを行う機会を増やし、より良いサービス提供ができるように実施しました。

○通所介護事業利用件数

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	実績額
年 度	利用実 人員	89	86	86	88	87	88	91	91	93	90	89	88	1,066	77,041 千円
	延べ利 用件数	753	779	701	784	693	774	800	799	761	729	704	733	9,010	
年 度	利用実 人員	92	88	87	93	94	88	95	92	88	89	87	91	1,084	72,958 千円
	延べ利 用件数	748	674	642	747	761	723	820	755	683	706	654	757	8,670	

◆認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）

認知症高齢者に対し、その有する心身の能力に応じて共同生活住居で自立した日常生活を営むことができるよう、家庭的な環境のもとで入浴・排泄・食事などの支援及び機能訓練を提供しています。本年度は、体調不良などで入退院を繰り返された方や、11月下旬と12月下旬に各1名の退所などがありましたが、空所期間は比較的短く、新たに2名の方が入居されました。また、新たな加算を取り入

れた事もあり、昨年度に比べ若干ではあります、増収となりました。なお平成27年3月31日現在では、要介護1の方が1名、要介護2の方が5名の計6名が入居されています。

○認知症対応型共同生活介護事業利用実績

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	実績額
26 年 度	利用実 人員	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	25,481 千円
	延べ利 用件数	180	182	158	186	186	180	186	170	164	164	167	186	2,109	
25 年 度	利用実 人員	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	25,158 千円
	延べ利 用件数	173	165	166	186	186	180	186	180	186	185	163	175	2,131	

◆居宅介護支援事業

介護サービスの利用にあたって、ケアマネジャー（介護支援専門員）が利用者の希望に添った介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、介護を必要とする方やその家族の相談に応じています。24時間相談できる窓口（電話）を開設し、主任ケアマネジャーを配置することでより専門的な相談が可能となり、安心した在宅生活を支援しました。本年度は常勤ケアマネジャーを1名増員したことで担当件数が増加し、また、認定調査件数も増えたことで、昨年度に比べ増収となりました。

○居宅介護支援事業利用実績

		4月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	実績額
26年 度	利用実 人員	106	109	111	114	118	124	128	130	132	124	122	120	1,438	18,678 千円
	利用実 人員	108	106	104	108	109	106	108	110	103	101	103	106	1,272	

②介護予防・生活支援事業

◆軽度生活援助事業

日常生活で手助けを必要とする高齢者、障がい者を対象に社会とのつながりを持ちながら安心した生活が送れるよう、外出時の援助、食事・食材確保などの軽度の援助サービスを提供しました。また、介護保険制度の限度額超過などでサービスが利用できないケースに対して、この事業を利用していただき支援を実施しました。

○軽度生活援助事業利用件数

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	実績額
年度	利用実 人員	18	17	12	17	16	16	14	15	20	12	13	14	184	1,714 千円
	延べ利 用件数	71	66	62	81	68	80	86	76	77	62	63	79	871	
年度	利用実 人員	15	16	20	21	19	21	18	18	21	16	15	14	214	1,797 千円
	延べ利 用件数	67	73	80	96	86	110	129	120	96	92	75	74	1,098	

③地域支援事業

◆高齢者食生活改善事業

地域支援事業の一環として、高齢者の食生活改善を支援するため、管理栄養士による相談活動や食事指導を行いました。年度途中より、管理栄養士の体制が2名から1名へ変更となつたこともあり、栄養・食事指導の実質的件数は減少となりました。

また、昨年度より課題であった二次予防（低栄養改善）においては、基本チェックリストの廃止により二次予防へのアプローチがなくなつたため、相談窓口・電話相談件数が減少しました。集団に対しては、例年の衛生講習に加え、引き続き、障害者センターやグループホーム利用者への栄養講習や集団指導なども行い、施設サービス利用者への組織教育の充実をはかることができました。

また、年1度の健康づくり講演会では、「健康寿命を延ばす食生活のコツ」についてのテーマを取り上げ、告知や開催日を工夫することで参加者増につながりました。

食生活改善事業での相談・指導及び講習会での延べ件数は205件、535名となりました。（昨年度 延べ件数は352件、761名）

◆地域支援事業（二次予防事業）

○認知症・閉じこもり・うつ予防教室「笑話くらぶ」

認知症や閉じこもり、うつになるおそれのある二次予防対象高齢者に、ゲームや脳トレなどのレクリエーション、調理プログラムなど、他者交流を含め、楽しく過ごし認知症や閉じこもり、うつなどを予防することを目的とし月1回の教室を開催しました。今年度は全12回（1クール6回参加）実施し、参加人数は20名、延べ127名でした。



脳トレ体操の様子



調理プログラムの様子

○運動機能向上教室「元気アップ教室」

運動機能低下のおそれのある二次予防対象高齢者に、自宅で実施できる運動を楽しみながら行う教室で、本年度は全 25 回（1 クール全 12 回）実施し、参加人数は 21 名、延べ 280 名でした。本年度は、今後各地域での体操教室の普及を見据える行政の意向もあり、平成 26 年 9 月末で終了しました。二次予防事業施策においての費用対効果と今後の介護保険改正を踏まえて、地域における体操教室の展開をということで、7~9 月に若葉（猪名川小学校区まちづくり協議会）、10~12 月に旭ヶ丘（大島小学校区まちづくり協議会）、1~3 月に松尾台小学校区まちづくり協議会の 3 地区で 3 ヶ月間の健康長寿体操モデル事業が展開されており、地域包括支援センターが地域との打合せとモデル事業の最初と最後の身体測定、アンケート調査で関わりました。3 地区とも、モデル事業終了後も自主教室として継続実施されています。



元気アップ教室の様子



若葉のモデル事業の様子

◆地域包括支援センターの運営

町の委託を受け、高齢者が自立して生活できるよう、さまざまな支援を行う事業で、総合相談（権利擁護）、介護予防ケアマネジメント、介護支援専門員（ケアマネジャー）支援などの事業を実施しました。本年度も、複合的な課題（高齢者と障がい者の複合世帯、生活困窮とゴミ問題、等）を抱える困難ケースの相談や民生委員児童委員やサービス事業者、病院のソーシャルワーカーからの相談が増えるなど、多岐に渡る機関との連携内容が徐々に増えています。また、困難なケースについては町との連携を図りながら支援を行っていくことが重要となります。

総合相談（介護予防プラン作成を行わない相談）件数は、延べ 1,124 件、相談実人数 724 名でした。また、介護予防プランの作成は平成 27 年 3 月時点では 307 件となりました（平成 26 年 3 月時点では 304 件）。他に、老人会等からの依頼を受けて、高齢者福祉や介護予防をテーマに出前講座も行いました。

○出前講座テーマ・件数及び参加人数

日	テーマ	対象・参加人数等
1 5/13	地域包括支援センターについて	民生委員児童委員協議会定例会 55 名
2 6/ 4	民生委員・児童委員と地域包括支援センターとの交流会	六瀬地区民生委員会 10 名
3 6/ 7	健康寿命を延ばすコツ、脳トレ	杉生健康教室 27 名
4 6/11	高齢期の心と健康	若葉むつみ会 37 名
5 6/27	健康寿命を延ばすコツ、脳トレ	銀山老人会 6 名
6 7/ 1	脱水にならないために、血圧測定、脳トレ	西畠老人会 14 名
7 7/17	お口の健康	東山クラブ 15 名
8 7/19	高齢者の福祉制度について	猪名同教自治会部会 21 名
9 7/23	脳トレ	笹尾老人クラブ 24 名
10 9/ 1	悩んでいませんか？尿のトラブル、血圧測定	西畠老人会 12 名
11 9/ 9	高齢期の心と健康	白金プラチナクラブさわやか会 11 名
12 9/18	楽しく脳を鍛える、身近な人が認知症になったら？	白金まち協ほっとサロン絆 30 名
13 9/24	転ばないからだづくり	中谷地区福祉交流会 31 名
14 10/ 7	脳トレ、スローイングビンゴ	杉生健康教室 20 名
15 10/30	悩んでいませんか？尿のトラブル	松尾台老人会みどり会 26 名
16 10/31	脳トレ	銀山老人会 8 名
17 1/ 7	冬を元気に乗り越えましょう、指体操、おじゃみ回し	杉生健康教室 17 名
18 1/22	脳トレ	旭ヶ丘体操教室 14 名
19 1/25	認知症ってなあに？、脳トレ	旭ヶ丘コスマスクラブ 25 名
20 2/19	脳トレ	旭ヶ丘体操教室 12 名
21 3/18	いつまでも口から美味しく食べましょう！、脳トレ体操	上阿古谷健康教室 33 名
22 3/19	脳トレ	旭ヶ丘体操教室 12 名
23 3/20	脳トレ問題集、脳トレ体操	若葉熟年クラブ 36 名
24 3/22	認知症について	杉生老人クラブ総会 60 名
25 3/24	トシなんかに負けないぞ！健康寿命を延ばすコツ、指体操	生きがい相談会 23 名
26 3/25	健康寿命を延ばすコツ、平成 27 年 4 月から介護保険制度が変わります！！	若葉健康教室 23 名
合 計		602 名



若葉むつみ会 出前講座



西畠老人会 出前講座

◆家族介護支援事業

○家族介護教室

開催日：平成 27 年 2 月 25 日 (水)

場 所：総合福祉センター研修室

参加者：15 名

内 容：「若年性認知症～家族の思い
～」

講 師：若年認知症支援連絡会
「ひよこの会」

会員 仲西加代子 氏



○認知症高齢者見守り支援事業

『やすらぎ支援員』（認知症の基礎知識・接遇研修を受けた方）が、認知症高齢者の自宅を訪問し、見守りや話し相手を通じて『なじみの関係』を作ることで、その人の心身の安定を図り、すこやかな在宅（住み慣れた地域で）生活が送れるように支援するとともに、認知症高齢者を介護する家族の介護負担の軽減を図ることを目的としています。

本年度に入り利用頻度の多い利用者より申込があったため、利用時間が昨年度と比較し、利用増となりました。本年度の利用者は 2 名、利用延べ時間 123 時間です。（昨年度 利用者 3 名 利用延べ時間 85.5 時間）

○認知症サポーター養成講座

平成 17 年度より厚生労働省が推進する「認知症サポーター 100 万人キャラバン」の一環で、猪名川町でも平成 20 年度から地域包括支援センターが事務局となり、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。認知症への正しい理解、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮せるまちを地域住民の手によって作っていくことを目指す、全国的な取組みです。

本年度は、若い世代への普及・啓発をということで、念願の小学生、高校生を対象に講座ができました。また、役場や池田泉州銀行からの依頼により、普段窓口対応で認知症の方と接する機会のある方向けの講座もできました。

・認知症サポーター養成講座開催数及び参加人数

	開催回数	サポーター数
26 年度	14 回	458 名
25 年度	3 回	62 名
24 年度	8 回	211 名
23 年度	5 回	99 名
22 年度	4 回	73 名
21 年度	10 回	540 名
20 年度	4 回	128 名



猪名川高校での認知症サポーター養成講座の様子

◆地域ふれあい事業

○「ふれあいの場」運営補助事業

町の補助・支援を得る中、地域の高齢者が孤立することなく、安心して暮らせ、世代を超えた地域の交流の場づくりを進める上で、地域住民のつながりの再構築の一助となることを目的として、「ふれあいの場」運営補助事業を平成 16 年度より実施しています。本年度は、若葉自治会より申請があり、運営助成を行いました。

○高齢者健康促進事業の助成

町内の高齢者のふれあいと健康促進を目的として、町老人クラブ連合会主催の「グラウンドゴルフ大会」(平成 26 年 10 月 23 日実施、約 220 名の参加) に運営助成をしました。なお、助成は共同募金地域配分金を財源としています。

6) 福祉教育活動

①福祉教育協力校の指定

急速に進む少子高齢社会を担う世代の育成として、誰もが地域社会の一員として互いに支えあえるような豊かな心を育む教育の必要性が求められています。昭和 59 年度より毎年町内の小中学校を福祉教育協力校として町内全ての小学校 6 校と中学校 3 校を指定し、校区内の高齢者との交流やボランティア体験等の福祉体験を積極的に取

り組みました。また、各小中学校への福祉教育助成金は共同募金地域配分金を財源としています。

②「福祉学習を考える集い」の開催

学校での福祉学習では、自ら学び考え、「生きる力」を育むことを目的に地域のニーズに応じて様々な形で実践されています。本会では今後の福祉学習の進め方、課題についての共有化と課題解決に向けた取り組みを進めていくことを目的として、「福祉学習を考える集い」を開催しました。

開催日：平成 26 年 8 月 20 日(水) 9:30~11:30

場 所：総合福祉センター 教養娯楽室

参加者：小・中学校教員及び学校関係者

教育委員会等 計 12 名

講 演：「福祉学習って何をするの？」

～学校から広げる地域とのつながり～

講 師：大阪教育大学 新崎 国広 氏



③福祉体験学習・講演会等の開催

各学校にて、地域の方や施設の方との交流を行うと共に、点字や手話等の体験を通して福祉体験学習を行いました。また、下記の通り、福祉講演会を行いました。

学校名	開催月	内 容	講 師	対象者
猪名川小学校	11月	福祉講演会「ちやすたら・いのちのうたコンサート」	多々良 誠氏	全校生徒
楊津小学校	6月	福祉講演会「車椅子バスケット選手のお話と体験」	伊丹スーパーフェニックス 大内 秀之氏	全校生徒
	10月	認知症キッズサポート養成講座	キャラバンメイト	4年生
	2月	「命の授業」	カシオ C S R 推進室 若尾 久氏	全校生徒
大島小学校	10月	福祉講演会「車椅子バスケット選手のお話と体験」	伊丹スーパーフェニックス 大内 秀之氏・樋口一裕氏	全校生徒
松尾台小学校	11月	福祉講演会「自立して生きる～幸せ難病生活～」(中谷中と合同開催)	大橋グレース 愛喜恵氏	5・6年生

	2月	福祉講演会「車椅子バスケット選手のお話と体験」	伊丹スーパーフェニックス 大内 秀之氏	1～4年生
白金小学校	3月	福祉講演会「全盲の方のお話と、ブラインドサッカー体験」	齊藤晃司氏	4年生
つつじが丘小学校	10月(1日に2回講演)	福祉講演会「夢見る力を信じて～ともに生きる未来～」	前川裕美氏	全校生徒
中谷中学校	11月	福祉教育講演会(地域合同講演会)「自立して生きる～幸せ難病生活～」	大橋グレース愛喜恵氏	全校生徒 保護者・地域住民
六瀬中学校	10月	福祉講演会 「挑戦することの大切さ」	パラリンピック水泳選手 加藤 作子氏	全校生徒
猪名川中学校	1月	障害のある人との共生のほか、いじめのない仲間作りのための講演会		
猪名川高校	6月	認知症サポーター養成講座	キャラバンメイト	

④ 「トライやる・ウィーク」への協力

兵庫県教育委員会では、県下の公立中学校2年生全員が、地域社会で体験活動を行う週間を設定し、学校・家庭・地域社会が一体となり体験活動を通して、中学生の心の教育を図る目的で、平成10年度より「地域に学ぶトライやる・ウィーク」が実施されています。

◆トライやる・ウィーク受け入れ状況

受入期間	学校名	受入人数
6月2日～6月6日	中谷中学校	3名
	六瀬中学校	2名
5月19日～5月23日	猪名川中学校	6名

7) 広報・啓発活動

①広報紙等の発行

機関紙である『社協だより』を6月、10月、1月、3月の年4回(1回12,000部)発行し、全世帯に配布しました。

また、『ひょうごの福祉』を関係機関に配布すると共に、『ふれあい伝言板』(役場、図書館、六瀬住民センター、日生連絡所に設置)に福祉情報を掲示、ホームページ、ブログでの社協活動のPRに努めました。(共同募金の地域配分金を活用しています)

②平成26年度「健康福祉まつり」への取組み

「だれもが健康で、安心して暮らせる地域社会をめざして、住民相互の理解と交流を深める」ために、地域福祉の担い手である住民の方々に地域や社会に参加してもらうきっかけづくりになることを目的として、社協らしい視点で地域福祉の推進を啓発することを意識しながら取り組みました。



ボランティア適正診断フローチャート



社協の活動を紹介しました

8) 自主財源活動

当会の財源は、町補助金・社協会費・共同募金地域配分金が主です。しかし、少子高齢社会に対応し、地域福祉・在宅福祉の新しいサービスを開発・推進するためには、多額の経費が必要となります。安定した財源確保のため、あらゆる地域福祉活動の展開の場において、本活動の必要性を訴えるとともにその啓発に努め、会費・共同募金等への理解と協力を促しました。

①社協会員会費

会員会費は、当会に対する住民の物心両面にわたる理解と協力、参加を広げていくことを目的に、昭和63年から実施し、本会会員には、平成9年度から「会員之証」を発行しています。

◆会員会費の納入状況

(単位：円)

会員の種類	会費額	26年度		25年度	
		金額	摘要	金額	摘要
一般会員	500	3,311,775	49 自治会	2,594,435	49 自治会
賛助会員	5,000	248,000	48 事業所	300,000	52 事業所
団体会員	5,000	10,000	2 団体	10,000	2 団体
計		3,569,775		2,904,435	

②赤い羽根共同募金活動

兵庫県共同募金会 猪名川町共同募金委員会として、赤い羽根共同募金運動を実施いたしました。本年度も、自治会・学校・法人・民生委員児童委員・職域などで多くの皆様のご協力をいただきましたが、昨年度に比べ若干減額となりました。

◆共同募金実績

目標額	実績額	達成率
2,194,000 円	2,176,917 円	99.2%

◆募金別実績額

(単位：円)

募金方法	金額	募金方法	金額
戸別募金	1,408,094	職域募金	284,402
街頭募金	34,409	学校募金	115,136
法人募金	322,000	その他（募金箱）	12,876
合計		2,176,917	

◆社協会費と共同募金の推移

(単位：円)

年度	22	23	24	25	26
社協会費	3,380,251	3,076,870	3,141,112	2,904,435	3,569,775
共同募金	2,334,907	2,348,513	2,265,508	2,211,120	2,176,917

◆共同募金地域（B種）配分金の推移

昨年度共同募金実績に対して翌年度に共募B種配分金として交付されたもので、地域福祉活動財源となります。

(単位：円)

年度	22	23	24	25	26
共募地域（B種） 配分金	1,873,000	1,883,000	1,848,000	1,769,000	1,772,000

③歳末たすけあい運動募金活動

◆募金実績

(単位：円)

NO	区分	金額	備考
1	戸別募金	696,355	
2	街頭募金	11,588	12/6, 12/7 イオン猪名川
3	募金箱	28,930	
4	預金利子	44	
5	前年度繰越金	237,523	
合計		974,440	

◆配分内訳

(単位 : 円)

NO	配分先	配分金額	見舞金	件数	備考
1	生活困窮世帯	70,000	10,000	7	世帯当たり1万円へ変更
2	準要保護世帯（基本額）	410,000	5,000	82	包括支援、相談支援等
3	準要保護世帯（2人目以降）	186,000	3,000	62	教育委員会より
4	繰出金	60,000	0	0	歳末募金事務費へ繰出
5	次年度繰越金	248,440	0	0	
合計		974,440		151	

④善意銀行活動

地域の方々からの善意（金銭や物品等）を預かり、災害に見舞われた方や緊急に生活つなぎ資金が必要な方に払出すとともに、地域の福祉施設や福祉活動等に払出しを行いました。

◆平成 26 年度 善意銀行預託払出状況表

種類	預託内容	金額等	備考	払出内容	金額等	備考
金銭	一般	331,126 円	19 件	一般	125,000 円	・揖丹地区里親会 ・ひょうごこども家庭福祉財団 1 件 ・緊急払出し 1 件 ・災害見舞金 3 件
	指定	10,162 円	2 件	指定	108,012 円	・ふれあいバスツアーノ
	合計	341,288 円		合計	233,012 円	
物品	福祉用具	6 件	・車イス 3 件 ・ポータブルトイレ 2 件 ・歩行器 1 件 ・杖 1 件	福祉用具	5 件	町内福祉施設などへ払出し
	その他	23 件	・紙おむつ、パッド ・タオル ・商品券、切手 ・おもちゃ ・ふき取り布 ・お米、玉ねぎ ・布団、衣類、洗剤 など	福祉用品 その他	19 件	
	合計	29 件		合計	24 件	

9) 団体事務局の運営

本会では、次の福祉 7 団体の事務局を担当し、諸活動に協力しました。

- ①老人クラブ連合会 ⑤身体障害者父母の会 (セルフヘルプグループ)
- ②生甲斐相談会 ⑥手をつなぐ育成会 (")
- ③遺族会 ⑦こころ猪名川家族会 (")
- ④英靈にこたえる会

10) 総合福祉センター管理運営等

総合福祉センターでは、高齢者等の生きがい・健康活動として各種の教室を開催し、広く利用の促進を図りました。また、町から総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、同センターの施設利用や維持管理の業務を行い、その利用状況及び改修工事の状況等については、次のとおりとなります。

◆総合福祉センターいきいき教室実施一覧表

教室名	実施時期	実施回数	参加者数
水中健康体操教室	5月～7月	8回	11名
ボールを使って筋力アップ体操教室	5月～7月	8回	20名
色えんぴつ画教室	5月～7月	6回	15名
楽しく歌う♪世界の愛唱歌教室	5月～7月	6回	19名
やさしいヨガ教室	6月～8月	8回	14名
水彩画教室	10月～12月	6回	13名
健康カラオケ教室	10月～12月	4回	15名
編み物教室	10月～12月	6回	8名
リズム青竹ストレッチ教室	10月～3月	10回	19名
水中体操教室	10月～3月	10回	14名
計	72回		148名 (延べ 873名)

◆総合福祉センター施設の利用状況一覧表

		一般浴室	室内プール	教養娯楽室	研修室	ドーム
年 度	件数			355件	207件	1,280件
	人数	48,835名	4,704名	4,915名	2,948名	10,076名
年 度	件数			398件	190件	1,112件
	人数	47,320名	5,272名	5,694名	2,867名	8,946名

◆総合福祉センターの施設修繕一覧表

実施時期	修繕工事内容	金額(円)
4月	1階浴室扉修理	141,944
5月	1階泡風呂脱衣室洗面台混合栓修理	3,931
6月	1階泡風呂コントローラー取替修理	91,800
8月	1階浴室ナースコール緊急修理	2,160
9月	空調設備中央制御リモートユニット取替工事 1階バルコニースズメバチ駆除	231,120 27,000

	1階浴室排水不良による緊急修理	47, 520
	2階東階段避難口誘導灯取替工事	194, 400
	1階脱衣室貴重品ロッカーシリンダー交換	197, 100
11月	1階岩風呂脱衣室内トイレ天井張替工事	151, 200
1月	室内プール内プラケット照明漏電修理	38, 880
	1階岩風呂扉調整	3, 240
2月	地下駐車場天井水漏れ、機械室内給湯配管水漏れ修理	82, 080
	貯湯槽温度上昇不良調査、漏水補修作業	51, 840
	機械室内ストレージタンク温度計取替	46, 440
	地下1階男子トイレ及び手洗い場配管修理	71, 842
	1階事務所内天井漏水修理	35, 640
計		1, 418, 137

社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

◎理事（定員 11 名）

(任期 平成 26 年 6 月 11 日～平成 28 年 6 月 10 日) ※順不同

会長 鍋谷 將
副会長 桑江 朝武
理事 佐々木 敬二
" 中村 多一
" 荒井 康子
" 亀川 公昭
" 松原 弘和
" 村山 興治
" 井ノ末 利幸
" 喜多 譲
常務理事 紺家 儀二

◎監事（定員 2 名）

(任期 平成 26 年 6 月 11 日から平成 28 年 6 月 10 日)

監事 家門 正幸
監事 今村 恵子

◎評議員（定員 23 名）

(任期 平成 26 年 5 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日) ※順不同

評議員	森本 龍生	評議員	水黒 健一
"	谷 清	"	高岡 美津子
"	戸田 絹代	"	田中 浩太郎
"	堀口 初恵	"	平井 邦子
"	田中 幸子	"	広瀬 隆
"	端野 久美子	"	仲井 常雄
"	今泉 友幸	"	福井 和夫
"	石井 誠	"	板橋 汎子
"	太田 はるよ	"	西中 育
"	川西 栄治	"	関口 捷子
"	大下 章		
"	荒瀬 範彦		
"	井上 清太郎		